



# 整骨院が新メニューを開発して 潜在顧客や新規顧客を獲得

## 課題

### 健康保険収入の減少と 競合店との競争も激化

株式会社フェニックスエレメントは、経営者が2005年に東松島市矢本地区で創業した整骨院「やもと整骨院」をもとに、2012年に法人化した会社である。整骨院のほか、その強みを活かして高齢者向けの足腰の機能訓練特化型デイサービスや、自閉症などの発達障害を抱える小学生を対象とした運動療育サービスを事業化。さらには、結婚相談所の運営も行っている。「健康を通して幸せをもたらす」という経営理念のもと、痛みをとるだけでなく、健康な身体づくりを根幹に、さまざまな健康サービスを提供している。

母体となる整骨院は、東松島市内の健康増進施設にテナントとして入居して営業を行っており、腰痛や膝痛のリハビリで同施設のプールやジムに通う地域住民が多く来院。しかし、整骨院の事業運営には課題を抱えていた。

同社のある東松島市は、東日本大震災の被災者を対象とする国民健康保険の窓口一部負担金の免除措置を講じていた。しかし、整骨院での施術はこの措置の対象外だったため、東松島市商工会が支援を始めた2016年頃、同社の整骨院の健康保険収入は減少傾向にあった。さらに、競合する整骨院が増加し、競争も激しさを増していた。

## 支援

### 4回の持続化補助金で 新サービスの販路開拓

相談を受けた東松島市商工会では、小規模事業者持続化補助金の活用を積み重ねて、来店しやすい店舗環境の整備や、自費診療メニューの充実による差別化、経営計画の見直し・策定などの支援を行っていった。

まず2016年には、腰痛で来院した患者向けに、再発防止策として肥満解消や筋力アップを目的としたマンツーマンの体幹トレーニングサービスを新設。その後の3カ月の営業実績を前年同期間と比較すると、客数は約32%アップ。また2度目の持続化補助金では、産後の骨盤の歪みによるむくみやO脚、腰痛などを悩みを解消する骨盤調整の販路開拓を実施。それまでの院内は、女性が子ども連れで来店しづらい雰囲気があった。そこで、内装をカフェのような居心地を考えた空間にするとともに、Wi-Fi完備やベビーベッドの設備など、施設のリニューアルを実施した。これにより、前年



持続化補助金での店舗改装

同月比で、新規顧客数は83%と伸び、売り上げアップに貢献した。

こうした新たな女性客層の増加を追い風に、2018年の3度目となる補助金活用では、美顔メニューの提供を開始。3カ月で利用者数は約50人とまずまずの滑り出しを見た。そして2019年には4度目の補助金活用で、冷え性改善のための治療・温活コース「岩盤エクササイズ」をスタートした。今後も、保険適用外ながらニーズが多い悩みの解消に向け、サービスの開発をしていく予定である。

## 支援の経過

期間	支援内容
2016年4月～	持続化補助金（H27年度補正）の申請・事業実施
2016年12月～	持続化補助金（H28年度第2次補正）の申請・事業実施
2018年4月～	持続化補助金（H29年度補正）の申請・事業実施
2019年4月～	持続化補助金（H30年度第2次補正）の申請・事業実施

## 会社概要

会社名：株式会社フェニックスエレメント  
 住所：宮城県東松島市矢本字戸戸342-2  
 電話番号：0225-83-5980  
 URL：<http://www.yamoto-seikotsuin.com/>  
 代表者名：代表取締役 貴田義人  
 創業年：2005年  
 従業員数：4名  
 商工会名・担当者名：東松島市商工会・小林潤也